

# 平成28年度 「地域とともにある学校づくり」 推進フォーラム(鳥取会場)


実践発表

「コミュニティ・スクールの具体的な導入の  
在り方・充実に向けた方策」



# 山口県光市 (ひかりし)





# 光市における コミュニティ・スクールの推進

山口県 光市教育委員会

## 【光市の概要】

人口 52,369人

小学校 11校 (2,471人)      中学校 5校 (1,355人)



島田中校区  
島田小・上島田小  
三井小・周防小  
島田中

大和中校区  
塩田小・三輪小  
岩田小・束荷小  
大和中

浅江中校区  
浅江小・浅江中

光井中校区  
光井小・光井中

室積中校区  
室積小・室積中

# 光市で取り組むコミュニティ・スクール

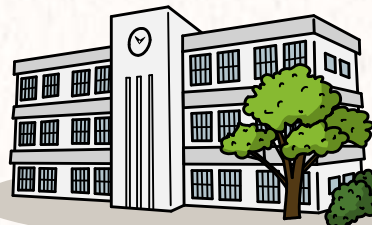
学 校



**「地域協働学校」**  
学校・家庭・地域が協働して  
学校運営に参画する学校



地域で育てる  
意識の醸成



学校運営の  
質の向上

「めざす子ども像」を共有し、それぞれが  
「教育の当事者」として、同じベクトルで  
子どもを育てる



地 域

保護者

故郷を大切に作る気持ちの育成と  
コミュニティの活性化

# 光市の目指すコミュニティ・スクール

## 地域の学校支援





光市立浅江中学校の事例を中心に

# 光市における コミュニティ・スクールの導入

# コミュニティ・スクール導入の経過

	H21	H22	H23	H24	H25	H26	完全 実施 16校
浅江中学校		文科省研究校	正式設置校		更新		
島田中学校		文科省研究校	正式設置校		更新		
3中学校			市調査研究校	準備校 学校支援地域本部 事業(文化生涯学習課)	正式設置校		
全小学校				準備校 学校支援地域本部 事業(文化生涯学習課)	正式設置校		
市教委				光市CS推進事業を開始(H24～)			



# 浅江中学校コミュニティ・スクール

平成21年度から2年間、文部科学省より「コミュニティ・スクール調査研究校」に指定。

浅江地区で古くから親しまれている名称「あさなえ」にちなみ、コミュニティ・スクールの名称を「あさなえネット」と命名。

23年度から、光市の指定を受け、事業を展開中。  
本年度、6年目。

# 研究推進のスタンス

教職員の負担を軽減させつつ  
実践的なプロジェクトへ

コミュニティ・スクールの活動のための意見  
や企画を教職員から積極的に提案させる環境  
にする

コミュニティ・スクールの部会の活動を校務  
分掌の仕事とセットにする



CSの意識化・取組への意欲向上

**教職員から意見や企画を  
積極的に提案する  
システムづくり**

# 浅江中学校コミュニティ・スクール (あさなえネット)の組織

## 3層構造が特徴

校長

全教職員

学校運営協議会

企画推進委員会

プロジェクト部会

心の教育部会

学力向上部会

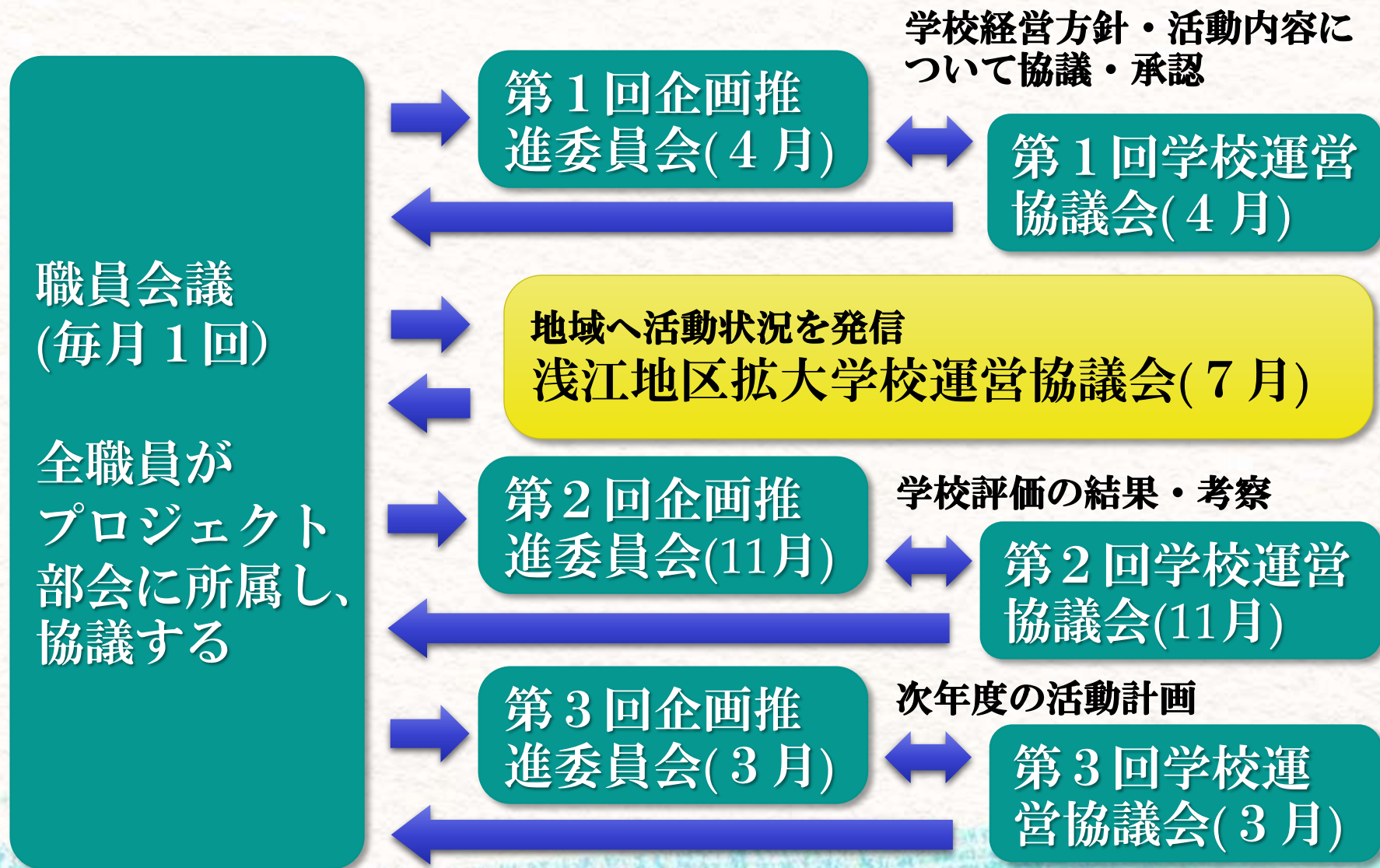
体力づくり部会

校内  
委員

校外  
委員



# 学校運営協議会・企画推進委員会



# 全教職員によるプロジェクト部会



学力向上部会



心の教育部会



体力づくり部会



# プロジェクト部会で具体策を練る



学力向上部会



心の教育部会



体力づくり部会

# 企画推進委員会と学校運営協議会



企画推進委員会



学校運営協議会



## 教職員の負担軽減

**コミュニティ・スクールの部会と  
校務分掌をセットにする**

# 教職員研修部会とプロジェクト部会を連動

## 全教職員

徳の部会

知の部会

体の部会

## プロジェクト部会

心の教育部会

学力向上部会

体力づくり部会



# 地域とのかかわりを深める取組

心の教育部会の基本プラン

学力向上部会の基本プラン

体力づくり部会の基本プラン

基本プランから発展した取組

# 心の教育部会の基本プラン







虹ヶ浜松林の清掃活動

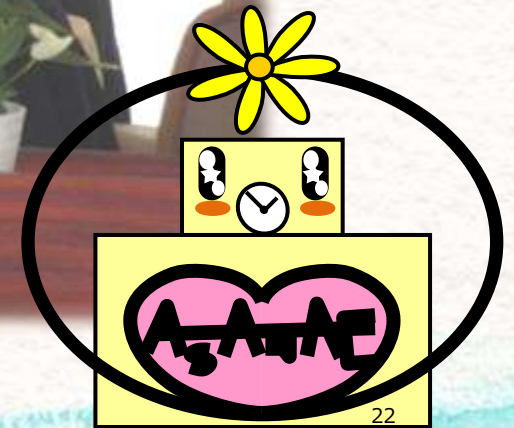
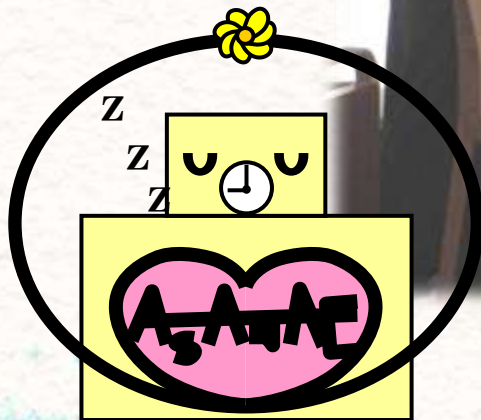


敬老と福祉のつどい



ふれあい授業

# 学力向上部会の基本プラン







あさなえ学習会 I・II



響け！ 歌声



サンドアートin光

# 体力づくり部会の基本プラン







あさなえヘルシープラン

ふれあい元気マラソン



小学生の部活動見学

# 基本プランから発展した取組の一例

地域発！ 「下校時見守り隊」

地域が集う！ 「世界スカウトジャンボリー」

地域と学ぶ！ 「地域の方の授業参加」

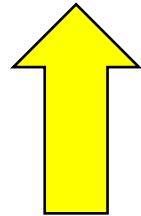
15歳は地域の担い手！ 「あさなえJr.」



# CSを基盤とした取組の経緯

「気付き・考え・行動できる生徒」を地域とともに育成

深化・発展 (H26～)



体制の確立 (H21～)



基盤の形成 (~H20)

「あさなえジュニア」の発足  
「15歳は地域の担い手」をスローガンとした地域貢献活動

「あさなえワークス」等の地域での教育活動

放課後見守り活動等の学校支援活動

地域が集う「世界スカウトジャンボリー」

小中合同学校運営協議会

システム  
の構築

学校運営協議会の設置  
(プロジェクト部会・企画推進委員会を伴った3層構造)



学校と地域が連携・協力体制を形成。

「基本プラン」の実施により、地域とのつながりが強化され、より多彩な活動へ発展。

3つの部会から20の「基本プラン」を企画・提案。



## 今後の取組

# 「15歳は、地域の担い手」

を合い言葉に学校・地域・家庭が  
さらに連携した取組を行う

